

# 平成29年度 政策づくり塾 第3回活動報告

第3回(7月7日)は、窪田塾長から地域公共活動について講義をいただきました。その後、政策づくり塾修了生坂本さん(4期生)から地域公共活動の報告をいただいたのち、4名の修了生と意見交換を行いました。

## 講義「地域公共活動の構想のヒント」窪田塾長

### 1. 地域公共活動を実施する上で重要な7つのポイント

- ◆目的はあるか
- ◆目的は具体的か
- ◆目的は1つの方が良いが複数なら優先順位はあるか  
⇒目的がある程度はつきり絞られていないとぼやけてしまう
- ◆法に反していないか  
⇒どんなにいい政策でも継続が出来なくなる
- ◆地域に必要なことか  
⇒必要でない活動の意味がなくなるため最も重要になってくる
- ◆市民の常識に反していないか  
⇒ときには今までにない斬新さも重要になってくるが、基本的に反していない方が賛同・協力を得やすい
- ◆市の総合計画等の政策に沿っているか  
⇒市の政策に沿っていることで相乗効果が生まれる



▲講義の様子

### 2. 自分にできる範囲で最善の企画を

- ◆活動規模の大きさは気にせず、課題・目的に沿った自分が出来ることを考えてみる。

## 政策づくり塾修了生からの地域公共活動報告

第4期生の坂本亮子さんから「よみかたり～隊」の地域公共活動報告をいただきました。

### 1. 主な活動

- ◆現代の子どもたちに豊かな感性を養ってもらうため、絵本を家庭で読んでいない人をターゲットに「読み聞かせ」のイベントを実施。
- ◆親子で絵本に触れ合う機会を設けることで、絵本の大切さや楽しさを知ってもらい、家庭での読み聞かせを啓発する。

### 2. 活動を実施して感じたこと

- ◆商業施設でも絵本の読み聞かせができる。
- ◆親(特に父親)の意識の変化が習慣化への一歩になる。
- ◆社会性・感受性・想像性の豊かな子どもの成長は市民レベルの向上に繋がる。
- ◆絵本は子どもも大人も魅了する力を持っている。

### 3. 公共活動に必要なこと

- ◆規模の大きさは関係ない。
- ◆何度かやってみると新しい発見があるので、1度の失敗を恐れない。
- ◆可能なら継続できると良い。  
⇒「よみかたり～隊」は塾活動修了後も定期的に活動を継続！



▲活動報告の様子



▲意見交換の様子

## 修了生との意見交換

4名の修了生と4つのグループに分かれて意見交換を行いました。修了生からは、実体験をもとに、公共活動に取り組む上で重要になってくる考え方や姿勢について教えていただきました。

また、次回は塾生それぞれが「公共政策活動として取り組みたいこと」を発表することもあり、活動に向けての不安な点や疑問に対しても活発な意見交換をすることができ、大変有意義なものとなりました。